

令和7年度岩手県立杜陵高等学校奥州校 第1回学校運営協議会

- 1 開催日時 令和7年6月5日(木) 13:30~15:30
- 2 開催場所 奥州校定時制校舎会議室
- 3 出席者 郊外委員9名、校長、定時制副校長、通信制副校長 以上12名
記録:黒澤【通】 受付:阿部【定】
- 4 次第(別紙資料表紙のとおり。)
- 5 学校運営協議会の概要説明(資料のとおり。質問なし)
- 6 学校概況説明(資料のとおり。学校noteの説明含む。)

<A委員>

noteはどこでどのようにしたら見られるのか。不特定多数の人に見てもらいたい。(補足
資料noteの善行の記事を見て)

<定時制副校長>

インターネットで検索していただくと閲覧できる。また、ホームページにリンクを貼りつけておくようにする。同窓会報の最終ページにQRコードがついている。インターネットのアクセスに慣れてない方でも情報が行き渡る方策を検討する。

7 協議

(1) 令和7年度学校運営計画について(校長より)

今回お示しているものは、盛岡本校と同じものとなっている。来週本校で開催される運営協議会において承認していただく。

(2) 杜陵高校奥州校スクールポリシーについて

奥州校独自のものとなっている。この場で承認いただきたい。⇒承認。

(3) その他

事務局より議題はなし

●各参加委員より

<B委員>現在の退学者数についての質問。⇒各副校長が回答。

退学する生徒が少なくなってきて、いい流れだと感じる。先生方の努力も大きいと思う。子どもを通わせていた当時も様々やっていた。親からすると非常にうれしかった思い出がある。今後もこの流れを継続してもらいたい。

<C委員>就労状況、進路状況について⇒各副校長が回答。

<定時制副校長>

進路決定に至らなかった生徒の現在の状況についても、後ほど回答したい。

<C委員>

杜陵高校は子どもたちの受け皿になりうる。既存の枠で捉えずに考えることができる学校だと思う。

<D委員>

岩手県でも自殺率の高さが課題となっているが、昔は地域で支える力があつた。「そのような場が現在提供できたらいいね」と言った話を先日していた。(地域で育てる、見守る)

<E委員>

以前は中学校でのソーシャルワークに携わってきた。現在は高校生に携わることが多い。高校でのソーシャルワークの難しさを感じている。高校生の場合、将来に向けての自立支援が重要となってくる。家庭が子どもの自立を支えられればいいが、家庭の多様化で難しくなっている。家庭以外の中で、社会で支えようと思っても社会資源が少ないと強く感じている。社会資源を作っていきたい、そのためには、高校生とも連携してやっていけたらと思う。

<B委員>

せっかくなので折に触れ、我々にお声がけしてもらいたい。我々を活用していただきたい。(他校の企業訪問や就職面接をサポートしている方もいる)興味を持ってくれる生徒もいると思う。我々も協力する姿勢をとりたいと思う。

<C委員>

何かしら地域の子どもたちに使ってもらえればと思う。今の子どもたちは自分が過ごしてきた時代を知らない。自分の子どもでさえジェネレーションギャップを感じる。新しい時代の学校としての杜陵高校に期待している。

<F委員>

スクールポリシーにおいて、支援団体の中に子育て支援センターが位置付けられている。どのような支援ができるか自問自答している。何か違った形で支援ができないかと考えている。少子化の中、高校生が実際にし、体験することも大切かと思う。

<B委員>

今まで培ってきた校風を変えないで欲しい。これほど寄り添ってくれる先生方はいない。子どもたちをいい方向に導いてくれていると思っている。

<G委員>

自分が通学していた当時、個性的な生徒が多かった印象だ。杜陵高校に通っているというプライドを持って生活してもらいたい。

<D委員>

定時制におけるPTA研修旅行は先生方やいろいろな保護者の方と関われる貴重な機会となっている。

<H委員>

興味深い行事がたくさん行われているので、これからも継続してってもらいたい。

<I委員>

(アルバイトを通じて)自分で働くことにより有用感が高まっている。世の中で役立っているという実感があると思う。生徒は非常に貴重な経験をしている。

8 その他

⇒ 資料のとおり(次回案内)

9 所感

とても和やかな雰囲気では会議が進み、その中で有意義なご意見を多数頂戴した。委員のみならず、杜陵高校奥州校と地域を盛り上げていきたいという意気込みが強く伝わった。頂戴したご意見を今後の学校運営に活かしていきたい。